

広徳寺通信

Letter from Koutokuji Temple 第24号



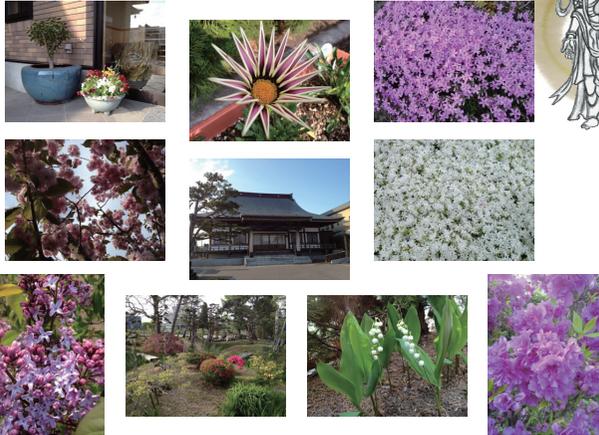
◆ 春の水田。空を映しだす鏡

豊臣秀吉の天下統一の右腕として活躍した武将、黒田如水が残した「水五則」の一節。
冬の大雪は溶けて川となり流れ、またときに水田として鏡のように青空を映し出します。どのような姿であっても水は水。いっどこであつても水の本質を保ち続けます。人もまたそのように、どんな境遇とあつても仏としての姿を失うことはありません。

— 洋々として大洋を充たし発しては蒸気となり雲となり雨となり雪と変じ霰と化し凝りては玲瓏たる鏡となりしかも其性を失わざるは水なり

お寺ニュース

お寺をいろどる花たち



花や鳥、虫たちの声に耳を澄ませましょう...



◆ 5月に入りようやくおだやかな風が吹くようになりました。梅、桜、鈴蘭、芝桜と花々が一気に咲き出す北国の春模様。寄せ植えの鉢も置かれ、お寺の玄関先をはなやかにいろどります。お寺の裏庭も藤の花が咲き始め、もう少しで見頃を迎えるでしょう。

境内の木々が剪定されました



◆ 今年の冬は例年にない大雪。境内・裏庭にある木々の枝が雪の重みで折れました。庭師の方がきれいに剪定をして下さり、庭の木々もスッキリ。切った枝の処理を手伝って下さったお檀家さんもありました！皆さまのおかげで境内もきれいに保たれています。



曹洞宗 慈眼山

広徳寺



〒049-0162 北海道北斗市中央 2-3-14

TEL 0138-73-2032 FAX 0138-73-5500

✉ info@jigenzan.org www.jigenzan.org



寺こやよりお知らせ

6月は第3土曜日の開催です！

寺こや坐禅塾 次回は6月16日(土)

寺こや坐禅塾はどなたでもご参加いただけます。初めての方にもやさしくお教えします。足の組めない方にはイスをご用意しております。また、坐禅の後には、お坊さんのお話がございます。日常生活をリフレッシュしたい方、自分自身を見つめたい方、なんとなくお寺に来たい方、どうぞお気軽にご参加下さい。

当日は、膝を曲げてもさしつかえないような、ゆったりとした服装でお越しください。

毎月第4土曜日 午後4時から
参加費：100円(午後5時終了)

上記日程以外でも坐禅の受付をしております。まずはお電話ください。

梅花講よりお知らせ

梅花流詠讚歌

ようこそ！新しい講員さん！！

毎週土曜日
午後1時半から3時半まで
どなたでもご参加ください。

5月12日～14日、札幌の龍松寺様にて、お寺の奥さん・若奥さんが検定を受けました。結果が楽しみです！





第21回 「因果って何ですか？」

修証義【しゅしょうぎ】

「何の因果があつてこうなったのか…」 「いや、因果な商売ですから…」 「なにぶん嫌とは言えない因果な性分で…」 因果という言葉を知ると、なんだか悪い印象がありますよね。しかし、因果というのは、原因と結果のこと。原因もなしに結果だけあるということはありません。善い行えば善い結果が、悪い行いには悪い結果が生まれます。この因果という事実、仏教の大切な真理ですが、それを正しく受け止めるにはどうすればよいのでしょうか。

因果の道理に向き合う

【本文】

今の世に因果を知らず業報を明らめず、三世を知らず、善悪を弁えざる邪見の党侶には群すべからず

【現代語意訳】

何が善であり、何が悪であるか、その善悪が自分の行為と行為の結果から生まれているものだという因果業報の道理を、自分のこととして、心から受け入れることが幸せの生き方そのものです。

一つ一つの行為が未来をつくる

人間は誰でも、自分一代で、またひとりの力だけで理想がかなえられるわけではありません。いろいろな人や出来事との関わりの中で達成されるものです。因果の道理を信じるということは、その関わり合いの中で生きているという事実に基づき大切に生きていくことです。自らの境遇に対して、ご先祖を呪ったり、運命として諦めるのではなく、謙虚な心で自分の生き方を反省し、一時一時の行為のありようを改良していく。そのことが現実をよりよく生き、未来を切り開く「原因」となり、「結果」を生み出すのです。

他人を批判する教えではありません

因果の道理を自分のこととして受け止めることができないのが人間の弱いところ。「凶悪な犯罪を犯しながら、罰せられずにのうのうと生き、また、正直者でも憂き目を見る人がいるじゃないか」と理屈をつける。しかし、あくまで因果の道理は自らを反省してよりよい人生を送るために示されているもの。決して他人を測り批判するためのものではありません。



ユミの！
おてらよめ日誌 新コーナー！！

こんにちは！ますます緑濃く、気持ちのよい季節になってきました。道々にもラベンダーやスズラン、ライラックなど本州ではなかなか日常的に見られない植物が沢山あり、“北海道らしさ”を発見する毎日です。

“北海道らしさ”といえは、生協さんの「ご近所野菜」。農家さんの顔が見える新鮮な今朝採り野菜を買えるなんてとっても贅沢…。しんわの湯に売っている温泉熱で栽培したというトマトも甘くて絶品ですね。

北斗市って農業が盛んで野菜もおいしいし、海も近くて魚もおいしいし、食べることが大好きな私にとってとっても幸せな場所なのだと思ってきました！！

そんな私は今、この辺りの農業・漁業について興味津々です。農家、漁師の皆さん、もしかしたら、ある日突撃でお伺いさせてもらうかもしれませんが、優しくこの土地の産業について教えて頂けると嬉しいです。よろしくお祈りします！！

